

都道府県 愛媛県  
 氏名 ム名 和気軟式野球クラブ  
 岩本慎之介  
 ホムジヨコンレフト

ぼくたちは県大会で優勝して、夢だった全  
 国大会に出場することができました。ぼくた  
 ちのチームは十二人という少ない人数ですが  
 みんなのチームワークで勝ち進んでいきまし  
 た。辛い時も苦しい時もみんなが助け合っ  
 てがんばってきました。そして先制されてもそ  
 こからあきらめないで野球をしようと今まで練  
 習してきました。その成果を全国大会で出す  
 ことができて一人一人がすごくねばり強くな  
 りました。またチームのメンバー一人一人も  
 努力を続けました。ぼくは素振りや毎日のが  
 さずして、練習のない日はバレーやインゲセ  
 ンサーにも行って練習しました。そうした努力  
 がみのり、全国大会で優勝することができて  
 とてもうれしかったです。またこの伝統的な  
 大会で負けたチームからもらった手紙もば  
 くれたの力になりました。いつもチームのこ  
 とを考え優しく厳しく指導して下さいました。監督  
 さんから感謝しています。これで満足せず、今  
 後の大会もチームワークで優勝します。

都道府県 愛媛県  
チーム名 和気軟式野球クラブ  
氏名 須賀 椋也  
ポジション サード

ぼくは、今大会で優勝できてよかったです。  
 そして、この全国大会で分かったことがあります。  
 それは、あきらめない心がとても大切  
 だと思います。なぜ、あきらめない心が  
 大切かというと、ぼくたちは、六試合のうち  
 四試合が逆点勝利でした。だからです。ぼくは、  
 逆点勝利ができたのは、あきらめない心があ  
 り、一人もかけたらず、下をむくこともなか  
 ったから、ぼくたちの夢の全国制覇ができたの  
 だと思っています。  
 あと一つ、大切だと思ふことがあります。  
 それは、チームワークです。なぜ、チームワ  
 ークが大切かというと、それは、心を一つに  
 して、力をあわせることができるからです。  
 チームワークは、みんなの心を一つにするこ  
 とのできるものだと思います。  
 今大会は、きびしい試合でしたが、それ  
 をすべて乗り越えて、頂点にたてたので、よ  
 かったです。何が大切が分かったので、これ  
 からこの経験をいかしてがんばります。

都道府県 愛媛県  
 チーム名 和気軟式野球クラブ  
 氏名 角石竜空  
 ポジション ピッチャー

ぼくは、この全国大会優勝を経験してとて  
 もよかつたし、うれしかったです。練習でか  
 んとくやコーチに感しやして、教えてもら  
 うことでぼくは、とても打つほうでも守るほう  
 でもうまくなつたと思いま。休みの日に、  
 わざわざぼくたちのために、つたてくれ  
 た、かどたコーチとかに感謝して、この優勝  
 は、中学校でも、牛かして、きたいと思いま  
 した。やっぱり何でもあきらめない気持ちか  
 勝ちに、つたがる人だ。この大会でまなだ  
 ことです。みんなと協力すること、とても  
 だいじな事だと思いました。この大会で、野球は  
 ほんとうにおもしろいと思いました。野球を  
 つづけられるのは、お父さんや、お母さんの  
 支えがあるからだと思えます。何回もおこし  
 木たけび野球をつづけさせてくれたので、こ  
 の大会で優勝できたと思えます。全国大会で  
 は、みんなと協力して、一つ一つ勝つことが  
 できました。応援してくれただけにも感謝  
 の気持ちを持って、うれしかったです。この

都道府県 愛媛県  
 チーム名 和気軟式野球クラブ  
 氏名 二宮 楓  
 ポジション 中堅手

高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会マクドナルド  
 トーナメントに出場して一、二試合目  
 までには少しきんちようして体がかたくなって  
 いたけど、三試合目以降は、きんちようもほ  
 ぐれ、自分のプレーができるようになってき  
 たので自分の中で、少し安心できました。  
 全国大会で一番印象に残った場面は、一回  
 戦の岩見沢東ブラックスがアウトの試合です。  
 ぼくは、九番バッターで前のバッターの椋  
 也君が三塁打を打って、一点リードされて  
 その後大事な場面が同点の犠牲フライを打ち  
 同点になった時は、とてもうれしかったです。  
 ぼくは、全国大会を経験して自分が成長で  
 きたと思います。来年の全国大会で後はい達  
 に二連覇をしてもらいたい愛媛県にもう一度優勝  
 旗を持って帰ってほしいです。

都道府県愛媛県  
 チーム名和気軟式野球クラブセカンド  
 氏名 坂尾浩汰

ぼくは、全国大会1回戦1番バッターで三振したけど、甘んじ、背中を押してくれ、たので、思いきって試合をすることができました。4回戦の態本サングラスと試合をして、1アウト3塁にランナーがいたので、絶対に返してやるうと思いましたが、そしてレフトに打って先制点がとれてうれしかったです。最終回1アウトからライトにホームランをうたれ、2アウトからホームランのウライをうたれたけど、ピッチャーがとってアウトだったのでよかった。決勝は、石川県代表の根上学童軟式野球チームと戦いました。初めに、満塁のチャンスでしたが、ゲッツいで終わりました。4回に試合がストップして、雨があがった。あとに2点をとって、4対1で勝利しました。試合が終わって、みんなでマウンドに集まって、ていしやいとさげびました。そこまでくれたのも、かんじのおかげでした。

都道府県愛媛県  
チーム名和気軟式野球クラブ  
氏名河端優斗

ポジション・レフト

ぼくは、去年全国大会にチームが出場して  
からず、と、全国一位になりたいと思っ  
たら、高円宮賜杯第三十四回全日本学童軟式  
野球大会マクドナルド・トーナメントとい  
日本一を決めるぶたいに立ってました。残  
念ながら、試合には出られませんでした。が、  
ベンチから、試合に出ている選手を応援し  
たり、サポートなどをしてがんばりました。  
一試合目から六試合目まで、みんなが一選  
選必死に、でも楽しそうにプレイしている姿  
を見て、自分も楽しく応援ができました。  
一回戦のブラックベアーズ戦では、球の速い  
ピッチャーから、しっかりと打って逆点したと  
きは本当にうれしかったです。津々決勝の相  
手中島サンガース戦は、大きい人たちから点  
を取り、点におさえた所はすごいと思いま  
す。決勝戦七回裏スリーアウトとったときの  
あの気持ちは絶対忘れません。  
小学生最後の夏、和気軟式野球クラブのみ  
んなと、最高の思い出ができてよかったです。

都道府県 愛媛県  
 チーム名 和気軟式野球クラブ  
 氏名 鳥谷部 颯太 投手・遊撃手

ぼくは、決勝で最後のピッチャーゴロをと  
 ってファーストに投げて、しんばんがアウト  
 のジャッジをしたしゅんかん、夢の中にいる  
 ようでした。気が付いたら、みんながぼくを  
 どう上げをしてくれて、空が近くなったり、  
 遠くなったりしました。空を飛んでいるよう  
 でした。優勝したんだ。ってぺんだ。と思い  
 ました。  
 ぼくたちは、決して大きい選手もいない  
 し、登録選手が十二人しかいないチームです。  
 でも、かんとくが、ハートの大きさと折れな  
 い心を持っていれば、ぜったい勝ると言っ  
 ていたので、自分に負けるものかと思って戦  
 いました。  
 ぼくは、この大会で仲間の大事さを学びま  
 した。ぼくがエラーをしたら、みんなが声を  
 かけてくれて、助けられました。だから、  
 ぼくも、みんなのために優しい気持ちで助け  
 てあげたいなと思います。

都道府県 愛媛県  
チーム名 和気軟式野球クラブ  
氏名 苗日根 悠心悟 ポジション キャッチャー

仲間達と一緒に全国大会に出場し、全国制覇できた今年の夏は、本当に熱く燃えた。ぼくに、て忘れられない夏になりました。

全国大会では、六試合中四試合が逆転勝利でした。初戦の北海道南代表岩見沢東ブラツクベアーズ戦は、六回まで一点リードされていただけ、最後まで勝つと信じてみんなが戦いました。準々決勝の熊本県代表の中島サンダース戦は、気の抜けない苦しい試合でした。試合前のあいさつの時、ぼく達の前に立つ選手達が、ぼく達より頭一個分体の大きい選手だったけれど、野球は体の大きさではなく、ハートの大きさでやるんだという監督の言葉を思い出し、気持ちで負けてはいけなと思います。戦いました。七回裏にホームランを打たれた時は、正直「やばい」と思ったけれど、みんなの勝つぞという気持ちが一つになり、しっかりと押さえて勝つことができました。振り返ると、どの試合でも、みんなの気持ちが一つになれていたんだと思います。

都道府県愛媛県  
チーム名和気軟式野球クラブ  
氏名曾根悠悟  
ホッパースコンキャッチャー

ぼくは、この全国大会で学んだことがたく  
さんあります。一つは、野球はハートの大き  
さ、気持ちで負けてはいけないということ  
です。もう一つは、最後まであきらめずに試  
合をするこの大切さです。最終回の最後の最  
後まで、勝つことを信じて試合をすることが  
大切なのだと言いました。そして、心を一つ  
に、チームのみんながまとまるこの大切さ  
も学ぶことができました。この事を忘れず、  
何事にも挑戦し続けたいです。

高円宮賜杯第 34 回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント 大会感想文

都道府県 愛媛県  
 チーム名 和気軟式野球クラブ  
 氏名 安藤 蒼大

ポジション ライト

ぼくは、高円宮賜杯第三十四回全日本学童  
 軟式野球大会マクドナルド・トーナメントの  
 中で学んだことは、チームワークの大切さと  
 あきらめない気持ちで学べました。この二つ  
 の大切さを実感したのは、二回戦の優勝こう  
 ほのチームで滋賀県代表の多賀少年野球クラ  
 ブとの試合です。初回到四点とうれしま。  
 てベンチにかえるとみんなまだ初回だからあ  
 きらめるなという気持ちでたたかいていきま  
 した。そうするとみんなが一一つつないで  
 いて、一点ずつかえていくとみんなの気持  
 ちも高まっていて七点とることができた時  
 に、ぼくは、初回到四点とらえたからといって  
 あきらめずに、みんなを一つにしてみんな  
 まで点をとったのであきらめない心とチーム  
 ワークの大切さを実感しました。  
 ぼくは、この大会を優勝することかできて  
 チームのみんなときぎずながすぐくふかまっ  
 みんなの思いが一つになっただから、その優勝で  
 きたんだと思います。

都道府県 愛媛県  
 チーム名 和気軟式野球クラブ  
 氏名 前田 柊 セカンド

ぼくたちは、ゆめだ、た全国せいはいを叶える  
 ことができて本当によかったです。ゆう勝し  
 た時ほんまに信じられませんでした。でも大  
 きな金メダルをかけたもら、た時、本当にす  
 ばいことをしたんだと思いました。  
 ぼくは、試合には、ひられなかつたけど、  
 せん手のみんなに声をかけたり道具をわたし  
 たり自分のできることをしてがんばりました。  
 チームのみんなは、あんな大が台で、活やく  
 してすばくか、よいかなと思、たのび、ぼく  
 もあんな大が台でプレイしたいと思、ました。  
 印象の、たことは、戦、たチームから千  
 羽づるももらい、どんどんふえ、決勝戦は  
 大量のチ羽づるにな、ていました。それを見  
 るとみんなからのパワーももら、て、せ、た  
 いに負けられないと思、ました。  
 最後まであきらめずに、い、生けんめいに  
 うれば勝利が見、てくることを学びました。  
 ぼくは、ゆう勝できて本当にうれし、かつた。で  
 す。夏の最高の思い出になりました。

都道府県 徳島県  
 市町村名 志度町  
 氏名 安永陽紀  
 所属 志度町立志度小学校  
 野球クラブ マクドナルド・トーナメント

ぼく達和気軟式野球クラブは、マクドナルド・トーナメントに出場しました。試合では良いプレー・悪いプレーもありました。でも皆のチームワークで点を取ったり取りかえしたり。ピンチの時は皆で声をかけ合って、チームが盛り上がり過ぎていました。しかし、試合の中では、ほとんどの人が逆転勝ちでした。自分の中で一番良いプレーは、二点差で負けていた時、ライトとセンターの間で打って二点です。時は、皆からほめられてうれしかったです。ぼくは皆の、一はいいという声を聞くと気合が入ります。それから、ぼく達は勝ち進んで全国制覇しました。これも、カンボクヤコーチや両親や保護者の方のおかげで、好きな野球の楽しさを知って、ここまで楽しくやってこられたと思います。全国制は、皆で勝ち取った物だと思います。皆で全国制は、できているように思います。ぼくはこのマクドナルド・トーナメントをわすれず、野球を続けていきます。

都道府県 岩手県

チーム名 和気軟式野球クラブ

氏名 村松 ゆうき

ポジション フライツ

ぼくは、全国大会に出場できて本当に良かったです。ぼくが、一番心に残ったのは、全国大会で優勝できたことです。ぼくは、ベンチ入りだったけど、監督がみんなに家で野球をやれといっていてその回からみんながプレイしているのを見てとても、カッコイイと思います。した。ぼくも来年出場できるのでみんながプレイしていたことやみんなに教えてもらったことや監督やコーチに教えてもらったことをいかしてチームのみんなと心を一つにして活やくしたいです。一試合目はまだ気持ちがいままでなくてですがとした試合になっていたけど、二試合目から気合を入れてみんなのやる気が変わっていたことがとてもカッコイイよかったです。監督やコーチからももい上げてもらったから優勝できたんだと思います。あと監督やコーチはみんなのために平日も休日も練習をしてくださったので監督やコーチ、家族の人に感謝したいです。ぼくは、このチームで出場できたことを本当にうれしいです。